

【解答】

- 1 ③
  - 2 ②
  - 3 ④
  - 4 ②
  - 5 ④
  - 6 ①
  - 7 ②
- 【解説】
- 1 間接語法を直接語法に書き換える問題。時制、代名詞等に注意する。did not → don't, she → you と直す。
- 2 下線部(2)の直前にその理由が述べられている。
- 3 get+O+out of one's mind 「Oを忘れる」
- 4 be free to do ~ 「自由に~することができる」
- 5 what+S+is 「現在のS」 cf. what+S+was [used to be] 「過去のS」 e.g. He is not what he used to be. 「彼は今は以前の彼ではない。」
- 6 ① 「エリザベスはすばらしいプロポーションをした健康な少女だった。」彼女のプロポーションに関する記述はない。第1段落の第3文の smart は「聡明な」の意。「細身」の意は slender, slim で表す。
- ② 「死の床にあった女性はエリザベスが医者になるように言った。」第1段落の第3・4文に一致。
- ③ 「エリザベスは大学に入る前に、自ら医学の勉強をしていた。」第3段落の第5文に一致。
- ④ 「ニューヨークのある小さな大学を除いて、どの学校もエリザベスに入学許可を与えなかった。」第4段落の第2・4文に一致。
- 7 ② 「アメリカ初の女性医師」本文はエリザベス・ブラックウェルが医者を目指すこととなるきっかけから実際にアメリカ初の女性医師になるまでを描いているので、これが正解。① 「19世紀の女性の状況」③ 「19世紀の医学課程」④ 「アメリカにおけるエリザベス・ブラックウェルの人生」①・③・④の選択肢はいずれも言及されていないが、主題ではない。

【語句・表現】

- L1 instant 「瞬間」
- L4 medicine 「医学」
- L4 since 「～だから、というのも～」 (=as) 理由・根拠を表す接続詞。
- L5 remind+O+that+SV ~ 「Oに～ということをお知らせする」
- L6 if she had been treated by a "lady doctor," she might not be dying は仮定法を用いた表現。if she had been ... は過去の事実に対する仮定を表す仮定法過去完了で、she might not be ... は現在の事実に対する仮定を表す仮定法過去になっている。また、the woman said that ... と間接語法になっているが、仮定法は時制の一致を受けない点にも注意。
- L6 treat 「～を治療する」
- L7 at that time 「当時」
- L7 it was not considered proper for women to talk about or know anything ... は、it が形式主語で、to talk ... or know ... が真主語。for women は to 不定詞の意味上の主語を表す。また、この文は consider+O+C (OをCだとみなす/考える) → consider it+C+for women to talk ... or know ... の it を主語にした受動態(過去形の否定文)である。
- L7 proper 「適切な、好ましい」
- L8 Elizabeth's sick friend had been so ashamed ... that she hid her pain for too long. は so ... that ~ 構文(あまりに...で~)。
- L8 be ashamed to do 「～するのが恥ずかしい(くてできない)」
- L9 internal 「内部の、体内の」
- L10 sought < seek 「探し求める、得ようとする」
- L10 it came too late to save her life は too ... to do ~ 構文(あまりに...で~ない)。
- L12 devote A to B 「AをBに捧げる」
- L12 training 「教育課程」
- L13 It happens that+SV ~ 「たまたま～ということである」
- L16 asking for ... は「...を求めて」の意で、付帯状況を表す分詞構文。
- L16 admission 「入学許可」
- L16 Most (medical schools) didn't even reply は( )内の語句が省略されている。
- L17 suggested that she dress up as a man ... の suggest (～であることを提案する) のような提案・要求・決定などを表す動詞の後の

that 節内では、動詞の原形かまたは should + 動詞の原形を用いる。

【全訳】

時に1人の人間の生涯は一瞬で変わってしまうこともある。エリザベス・ブラックウェルの人生は1844年のある日の午後、死の床にあった友人を訪ねに行った時に変わった。ブラックウェルが後にその光景を記述しているように、死の床にある女性が、エリザベスはなぜ医学を勉強しようと思わないのかと尋ねた。というのも、エリザベスは聡明で健康であったからであった。エリザベスがその友人に女性の医者というものはないのだと言ってやると、その女性のため息をついて、もし自分が「女医」に診てもらっていたならば、自分は死にかけてはいないであろうに言うのだった。

当時、女性が身体について語ったり、何か知っていることは好ましくないとみなされていた。エリザベスの病気の友人は自分の体内の問題のことを男性に話すのが恥ずかしくて、あまりにも長い間、痛みを隠していたのだ。彼女がようやく治療を求めた時には、もう手遅れで、彼女の命を救うことはできなかった。

エリザベスは死の床にある女性の提案を頭からぬぐい去ることができずにいた。彼女は自らの人生を医学に捧げることを決心した。医学課程の学費を稼ぐために、エリザベスはノース・カロライナで教職に就いた。たまたま彼女が働いていた学校の校長は医学博士であった。彼は多くの医学書を所有しており、エリザベスは仕事が終わると、自由にその本を読むことができた。

彼女は29の医学学校に入学許可を求める手紙を書いた。ほとんどの学校は返事すらしなかった。返事をしてきたものも大変礼を欠いていた。友人たちは医学学校に通うために、男装してみればと言ったが、エリザベスは女性として受け入れてもらいたかった。ニューヨークのある小さな医学学校がついに入学を認めた。エリザベスは1849年首席で卒業し、医学学位を受けたアメリカで最初の女性となった。

【解答】

- 1 notes
- 2 (イ) ② (ウ) ③
- 3 (エ) ④ (オ) ①
- 4 ①
- 5 ③
- 6 《全訳》下線部(ウ)参照。
- 7 ③
- 8 ④

【解説】

1 bill 「紙幣」 第4段落の第3文にある notes がこれに相当する。「紙幣」は、一般にアメリカ英語では bill, イギリス英語では note が用いられるが、イギリスでも他の物と区別するために a bank note などと呼ぶのが一般的である。ちなみに currencies < currency (通貨) は、紙幣以外の硬貨等も含まれるので不可。

2 (イ) 直後の "how ugly!" "They look so cold, metallic, and boring." といったコメントから多くの人々がユーロに満足していないことがわかる。 be anxious to do 「～したい(と思う)」

(ウ) 直後の2文から判断する。各国の旧通貨は自国の歴史に敬意を払っていたのに、ユーロにはそれがまったくない、とある。① be similar to 「～に似ている」② be preferable to 「～より好ましい」③ be different from 「～と異なる」④ be influential to 「～に影響を及ぼす」

3 (エ) be associated with 「～を連想する」① be connected to 「～と関連した」② be related to 「～と関連した」③ be representative of 「～を表している」④ be comparable to 「～と類似する」

(オ) cause 「～を引き起こす」① lay down 「～を横たえる」② result in 「～の結果になる」③ lead to 「～につながる」④ generate 「～を生み出す」

4 段落の冒頭に The changeover caused a bit of confusion. とある。これを裏付けるコメントを選ぶ。① 「より集中しなければならぬから、遅くなってしまう」② 「新通貨のことはよく知っているから、より素早くできます」③ 「単一通貨なので、よ